

10万人目の買い物客

農産物直売所「四季菜」



5月1日、農産物直売所「四季菜」が、買い物客10万人目を迎え、10万人目となった長谷川恵子さん（日野）に、南条農産物等直売組合山内博組合長から、花束と野菜や手作り惣菜、お菓子などの入った特製バスケットが贈られました。

四季菜は、平成16年12月にオープン。一日約220人のお客さんが訪れ、17年8月に買い物客5万人、今回はそれよりも早いペース。人気は、生産者を表示して並ぶ新鮮な野菜などの商品や、手作りのお惣菜やケーキなど。

長谷川さんは「商品はどれも美味しく、新鮮。毎日食材を買いに来ます。今日はラッキー」と喜んでいました。

プールで浮きウキッ！

ウォーターランドまつり

子どもの日恒例のウォーターランドまつりが5月5日開かれ、大勢の親子連れで賑わいました。

子どもの日とあって、高校生以下の温水プールの入館は無料。流水波乗りやウォーターライダーなど、子どもたちは歓声と水しぶきを上げて楽しんでいました。屋外では、焼き鳥や焼きそば、おもちゃなどの模擬店のほか、子どもたちにカレー汁が配られ大喜び。

午後からは、ヨサコイパフォーマンスや南条中学校和太鼓クラブによる演奏が屋外ステージで披露され、訪れた人を楽しませてくれました。



絶滅危惧種の保護に向け

ヤシャゲンゴロウ保護増殖事業



5月19日、町を初め、環境省中部地方環境事務所所課長や永井福井森林管理署長、ヤシャゲンゴロウを研究している奥野宏さん（白鬚）らが集まり、夜叉ヶ池にのみ生息するヤシャゲンゴロウの保護を目的とした会合が開かれました。

ヤシャゲンゴロウは、夜叉ヶ池にのみ生息する絶滅危惧種。現在、千から千五百匹が生息していると推計されているものの、入山者の増加による環境悪化や異常気象などの影響で絶滅が懸念されていることから、環境省がヤシャゲンゴロウの保護増殖事業に取り組むことになりました。今後、町と共に、検討委員会などを設け、方向性や実施時期などを検討していきます。

春待ちわびたカタクリの花

カタクリの花まつり



今庄地区では、毎年、カタクリの花が咲く4月上旬から20日過ぎ頃まで、カタクリの花まつりが開かれます。今年は雪が残っていたため例年より遅い開花となり、4月23日までのまつり期間も5月5日に延長されました。20日過ぎに咲き始めたカタクリの花は、藤倉山のふもとにある新羅神社裏の斜面約3ヘクタールに群生。訪れた人たちはやっと咲いたカタクリの花に、「待ち遠しかった」と話し、紫色のカタクリの花に彩られた斜面に感激している様子でした。

自然の恵みを満喫

リトリートたくら山菜まつり

4月29日、山菜まつりがリトリートたくらで行われ、約500人の人で賑わいました。

春の息吹セット（1セット1,000円）と名付けて用意された品々は、おろしそば、山菜おこわ、山菜天ぷらなど。食材に使った山菜は、コシアブラ、ユキノシタ、コゴミ、ウドなどで、どれも取れたての春ならではの味。山、海、里の素材をふんだんに盛り込んだ鍋も振る舞われ、訪れた人達は「揚げたての山菜天ぷらがとても美味しく鍋もご馳走がいっぱい。天気も最高で自然を満喫できました」と話していました。



力いっぱい頑張ります

南越前町スポーツ少年団結団式

4月29日、宅良地区体育館で、町内のスポーツ少年団15単位団と指導者、母集団など約200名が一堂に集まり、結団式が行われました。

鈴木和男町スポーツ少年団本部長が「スポーツを通して心身を鍛えてください」とあいさつすると、15単位団を代表して山内康平さん（今庄野球スポーツ少年団）が、「健康な心と体を養い、時代を担う立



派な人間になります」と誓いの言葉を述べました。その後、団の各主将が抱負や目標を発表、指導者からは、活動内容等の紹介があり、団員達は今年一年の活動に新たな決意を固めたようでした。